学校だより

葦

5月号　第２号
令和５年５月９日
市川市立福栄中学校

学校教育目標　自主・自立～　活力と魅力あふれる学校を目指して～

それぞれの学年が志を持って走り出しました!

４月は生徒たちにとっても、我々、教職員にとっても全力疾走で走り抜けた１か月となりました。そして４月の疲れを癒すためにゴールデンウィークはちょうどいいリフレッシュの機会になったのではないでしょうか。

学校では、それぞれの学年で学年目標を決め、その目標を達成するために生徒たちは明るく元気に活動しています。一歩ずつ確実に前進して目標が達成できるよう、学校生活を大切にしてほしいと思います。

学年・学級	学年目標	学年だより
第１学年	①認め合い②支えあい③助け合い ～良い集団をみんなの手で～	扉 可能性は無限大
第２学年	仲間を信頼し、目標の達成に向けて見通しをもって行動しよう。 ～進んで自分を磨き、お互いを高めあえる学年～	笑顔の葩
第３学年	「自分と仲間の未来を考えることができる人になろう」 ～最幸の卒業生をめざして～	焼印
葦の渚学級	最後まで諦めず努力するクラス	Ashi-no-nagisa

部活動集会　開催(4／24)



～市川市の学校部活動の地域移行について～
令和5年度より休日の学校部活動を段階的に地域クラブ活動に移行します。詳しくは市川市教育委員会保健体育課 HP をご覧ください。
「市川市の学校部活動の地域移行について」で検索してください。

部活動担当と部活動の部長が中心となり、部活動の意義・ルール等について共通理解を図りました。

本校では１０の運動部、５の文化部の合計１５の部活動があり、多くの生徒が加入し、一生懸命活動に取り組んでいます。顧問の中には担当部活動の競技経験や指導経験がない方もおりますが、子供たちのために熱心に指導しています。部活動は先生方の誠意で成り立っていることをご理解いただきたいと思います。

「人間は考える葦である」？

皆さん、学校の正門を入って右側の花壇に黒い石碑があるのを知っていますか？そこには「考える葦」と刻まれています。この言葉はフランスの有名な哲学者パスカルの言葉です。葦というのは水辺に育つ、弱く細い草のような植物のことで、パスカルは著書の中で「人間が自然の中では葦のように弱い存在である。しかし、人間は頭を使って考えることができる。考える事こそ人間に与えられた偉大な力である」ということをのべています。

このパスカルの言葉と福栄中学校がどんなつながりを持っているのかを調べて、学校だよりで伝えていきます。





環境整備ありがとうございました。

５月１日（月）の午後、PTA 本部の方を中心に保護者のボランティアを募り、校庭や学校回りの除草作業、昇降口周辺の側溝掃除をしていただきました。日差しの強い中での作業となりましたが、ご協力いただき、ありがとうございました。

また、用務員さんが校庭の朝礼台を白く塗装をしてくれました。５月２７日（土）に行われるひかり祭に向け、着々と校庭周辺の環境整備が進んでいます。PTA の方をはじめ、多くの方に学校の教育活動を支えていただいていることに感謝申し上げます。我々、教職員一同、生徒と共に毎日の清掃活動にしっかり取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症について

５月８日から、季節性インフルエンザなどと同じ５類に移行することになりました。学校といたしましては、千葉県教育委員会、市川市教育委員会の方針を踏まえ、本校の生徒の感染状況に応じた対応をしてまいります。

今後は、コロナ以前の日常を取り戻しつつ、with コロナの時代においてみんなで感染の広がりを防ぎながら学校での学びを止めることなく、実りある生活を進めていきます。

※具体的な対応については別紙にてお知らせします。

★★保護者の皆様へ★★

お子様の子育ての相談や学校への要望がございましたら、気軽に

校長室へお越しください。